

40万人が訪れる神戸の春の風物詩 「インフィオラータこうべ2026」各会場の花絵が決定！

チューリップの花びらを敷き詰めた花絵でまちを彩る「インフィオラータこうべ」。阪神・淡路大震災で傷ついた神戸の街を美しく彩りたいという思いで、1997年（平成9年）に初めて開催されました。今では約40万人の来場がある神戸の春の風物詩として定着しており、今回で28回目を迎えます。今年の開催概要及び花絵のデザインが決まりましたので、別紙のとおりお知らせします。



昨年の北野坂会場の様子

◆「インフィオラータこうべ2026」開催概要◆

〔元町あなもん〕

開催日：4月25日（土曜）・4月26日（日曜）

開催場所：元町穴門商店街（中央区元町通1丁目、元町駅東口南）

花絵テーマ：神戸な未来

主催：インフィオラータこうべ2026元町あなもん実行委員会

問い合わせ先：ディスプレイタモン（TEL 078-671-1415）

〔北野坂〕

開催日：5月3日（日曜・祝日）～5月5日（火曜・祝日）

開催場所：北野坂（中央区山本通）

花絵テーマ：神戸の姉妹都市の民族衣装

主催：インフィオラータこうべ北野坂実行委員会

問い合わせ先：バイエリア（TEL 078-261-8141）

◆「インフィオラータ」とは◆

イタリア語で「花を敷きつめる」という意味で、道路や広場に花びらで絵模様を描き鑑賞するというイベントです。イタリアのジェンツァーノ市をはじめ、ヨーロッパの各都市で実施されています。

◆市イベントページ（「おでかけKOBE」のURL）◆

<https://event.city.kobe.lg.jp/event/9SITfFgcf3e9nsEyry4F>

インフィオラータこうべ2026 開催概要

地 区	今回のテーマ	開催日時	チューリップ 使用本数	花絵の大きさ(縦m×横m)	2025年度来場者
	初回開催年・継続年数			面 数	2025度開催日数
元町 あなもん	神戸な未来	4月25日 9:00~18:00	2.5万本	7.0×1.8	(開催なし)
	1998年・26回目(※1)	4月26日 9:00~18:00		3面	(開催なし)
北野坂	神戸の姉妹都市の民族衣装	5月3日 9:30~18:00 (オープニングセレモニーは14:00~) 5月4日 10:00~18:00	28万本	10.0×5.0	39.9万人
	2001年・24回目(※2)	5月5日 10:00~17:30		8面	3日間

※1 2020、2021、2025年度は中止

※2 「北野」では26回目(1997~2000年は北野町広場で開催、2020、2021年度は中止)

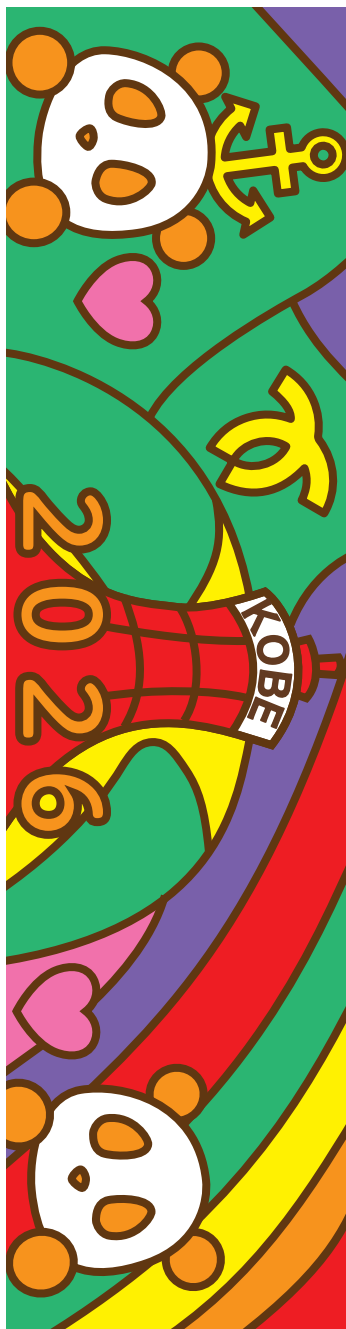
過去の来場者数		
2025年	1会場	39.9万人
2024年	2会場	37.5万人
2023年	4会場	36.4万人
2022年	3会場	20.8万人
2021年	中止	
2020年	中止	
2019年	3会場	42.7万人
2018年	3会場	44.5万人
2017年	3会場	44.2万人
2016年	4会場	95.2万人
2015年	4会場	48.6万人
2014年	6会場	89.1万人

インフィオラータこうべ元町あなもん「神戸な未来」

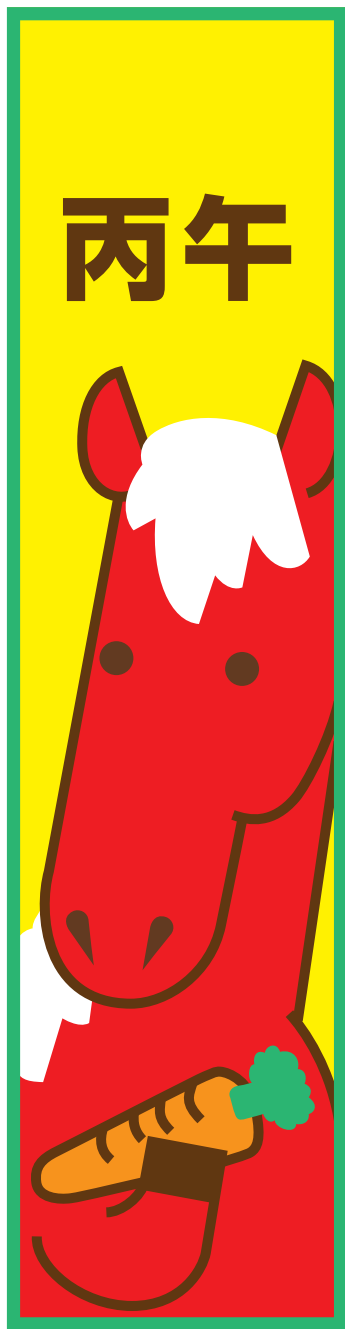
2026年4月25日（土）・26日（日）

「神戸な未来」をテーマに3団体が7m×1.8mの花絵を作成します。

●神戸中華同文学校



●南京町商店街



●元町穴門商店街



インフィオラータこうべ北野坂2026【神戸の姉妹都市の民族衣装】

5月3日（日）から5日（火） ※5月3日が花絵作成日

国際都市・神戸は8都市と姉妹都市・友好都市として提携しているのをご存じでしょうか？
それぞれの国の民族衣装は、カラフルで、インフィオラータの花絵にピッタリで北野坂を明るく彩ると考えました。
様々な国の人が住んでいる北野の特徴としても相応しいと考え花絵のテーマとしました。

時を刻む色彩～Seattle Past & Present～
【シアトル（アメリカ）】
神戸情報大学院大学

シアトルの大地に深く根ざした先住民の伝統と、空高くそびえる現代のランドマークを重ね合わせました。探究心を持って異文化を尊重し、新しい価値を創造する私たちの想いを、北野坂の街路に咲かせます。



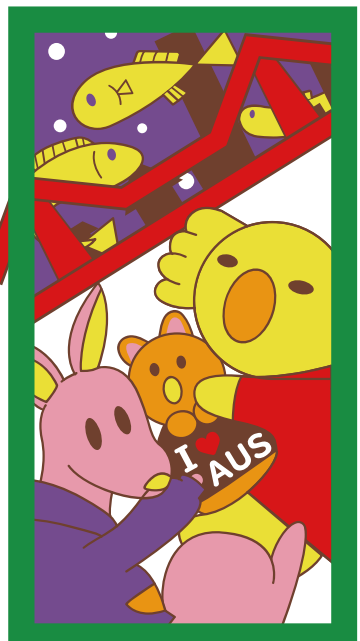
みりよくいっぱい中国
【天津（中国）】
伊川 結和子 こうべ小学校

チャイナドレスを着た女の人が肉まんをもってパンダといっしょにいるところです。



Connection～繋心～
【ブリスベン（オーストラリア）】
武田珠奈(神戸山手グローバル高等学校)

有名なストーリー・ブリッジと、南半球の象徴であり国旗にも描かれている南十字星、固有種であるコアラやカンガルー、「世界一幸せな動物」ともいわれているクオッカを描いています。多様性にあふれた国であることを、Tシャツの中のイラストデザインのように表しました。



海を越えて共に舞う
【バルセロナ（スペイン）】
LOO+ × 神戸人

フラメンコのスカートが舞う様と波模様を重ねて海を越えて繋がる姉妹都市のバルセロナと神戸の関係性を表現しました。



マルセイユ、プロヴァンスの男女
【マルセイユ（フランス）】
清原由季（神戸北野美術館）

マルセイユはプロヴァンス地方に位置し、太陽が燦々と輝く土地柄から、衣装も色調が明るく楽しげ。強い日差しを遮けるパラソルが特徴的です。



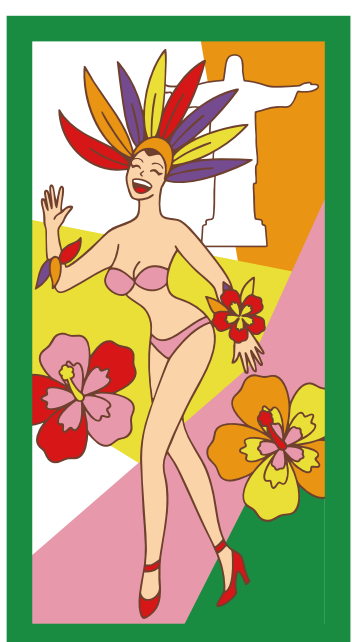
海と花がひらく港町
【仁川（韓国）】
橋本薫（神戸北野美術館）

日本の港町である神戸とも、どこか通じる異国情緒と近代的な街並みが共存する美しい港町です。伝統衣装であるチマチョゴリ、スカート裾に波をイメージした曲線、やわらかな花の広がり、小花の中央の黄色は港の灯りのイメージです。



Vamola Mucho (バモラムーチョ)
【リオ・デ・ジャネイロ（ブラジル）】
中原洋子

ブラジルと言えば、サンバ！初夏の神戸北野坂に情熱的なリズムに合わせて華麗なステップを披露するカーニバルの女性を描きました。



リガの女性
【リガ（ラトビア）】事務局

ラトビアの伝統衣装「タウタス・テールプス」を纏った二人の女性が、リガの象徴・聖ペテロ教会と自由の記念碑を背景に踊る姿を描きました。赤い刺繍のブラウスと白い肩掛け、幾何学模様のリエルワールデ帯、円形のサクタブローチが特徴的な民族衣装です。



2026年4月21日

神戸市政記者・神戸民間放送記者 様

「インフィオラータこうべ『北野坂』2026」実行委員会

「インフィオラータこうべ『北野坂』2026」報道撮影用高所作業車の利用について

標記について、「インフィオラータこうべ『北野坂』2026」の取材撮影用に高所作業車を下記のとおり配置いたします。高所作業車による取材撮影の利用を希望される場合には、別紙のシートにご記入いただき、FAXまたはメールにてお送りくださいますようお願いいたします。

記

1. 配置場所

北野坂・パールストリート交差点付近（会場の最南端部）

2. 時間帯

5月3日（日・祝）午後1時30分～午後4時00分

3. その他

バケット内は原則2名までとさせていただきます。

乗車の際は係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。

天候等により高所作業車を配置できない場合は中止とさせていただきます。

お申し込み用紙に、当日撮影に来られるご担当者の携帯電話番号を必ず記入して下さい。

以上

お問い合わせ

（一財）神戸観光局

TEL 078-262-1776

担当：中村・初村

5月3日（日・祝）の連絡先

初村：050-5468-6484

(一財) 神戸観光局 初村宛
FAX 078-230-0808
MAIL hiromi_hatsumura@kcva.or.jp

「インフィオラータこうべ『北野坂』2026」

高所作業車の利用を希望します。

貴社名 _____

電話番号 _____

取材ご担当者名 _____

取材ご担当者 携帯電話番号 _____

【ご注意】

乗車の際は係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。

※4月27日(月)までに返信いただきますようお願いいたします。